

平成 27 年度ひょうごスマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業（環境省補助）  
ひょうごスマートムーブ推進コンソーシアム勉強会

1. 開催目的

H27 年度ひょうごスマートムーブ推進コンソーシアムの参加団体を対象に、交通分野における環境配慮行動に関する知識と本事業の活動の意義を共有することを目的に勉強会を実施した。

なお、勉強会にあたってはコンソーシアム会員の川西市交通政策課の紹介により川西市教育委員会が実施する「川西市夏季教職員研修講座」に参加することとした。

2. 開催日時・場所

平成 27 年 7 月 29 日（水）10 時～12 時 川西市立川西小学校

主催：川西市教育委員会 共催：兵庫県阪神北県民局 川西市都市・交通政策課

3. 内容

報告「川西市の交通まちづくりと MM 教育（学校 MM）」

川西市都市・交通政策課 課長補佐 中津留 幸紀氏

講座 ①交通・環境・まちづくり・食育の体験的学習

「買物から環境と社会を考える（フードマイレージ）体験」

②モビリティ・マネジメント教育およびシティズンシップ教育の可能性

「交通すごろくから環境と社会を考える」等の紹介

愛媛大学大学院 教授 松村 暢彦氏

4. 参加者数 30 名

コンソーシアム関係 9 名（内訳） エコウイングあかし 3 名、加東エコ隊 2 名、  
牧の台小学校区コミュニティ推進協議会 2 名  
事務局 2 名

教員（川西市）、行政（明石市、伊丹市、洲本市など） 21 名

5. 意見感想

・モビリティマネジメント教育（MM 教育）は、日本モビリティマネジメント会議を中心に研究・活動が行われている。市民に対して、移動手段や社会全体の交通流動を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育成することを目指した教育活動を目的にしている。

・コンソーシアムでは、牧の台小学校区コミュニティ推進協議会でのノーマイカー活動で住民を対象に MM 教育による勉強会を実施予定であるが、MM 教育の意義・目的と実際に学習を体験することでその手法を勉強することができた。

また、他の地域からの参加者にとっても、大変興味ある学習であったとのことで独自活動の中でも導入を検討したい旨の意見があった。

兵庫県地球温暖化防止活動推進センターでは、市民活動を支援することを目的に、本講座関係者と連携をとり環境学習プログラム導入・作成の必要性を感じた。

以上

【学習会の様子】

